

---

---

<水球陣>東日本リーグ 4戦

H26.3.8 対 DROPPERS @慶応日吉プール

東大                    2 2 1 3   計 8  
DROPPERS            0 2 4 1   計 7

得点者：桐生（2）、浪間（2）、池亀（2）、梶原（2）

東日本リーグで下位リーグとの入れ替え戦に回った東大。目標である1部残留のためにもこの試合は絶対に落とせない。対する相手は社会人チームである DROPPERS。OBである田丸さんがキーパーをされている強豪チームであるが、これまでの練習通りやれば絶対に勝てるとチームは士気を高めた。

#### 第1ピリオド

相手は試合前の予想通りフローターの浪間に下がってくる戦術をとってきた。これに対し東大は連続で退水をとるもこれを決めきれない。しかしカウンターにより浪間、梶原が連続で得点する。対する相手はフローターを使って攻めてくるが、キーパー疋田を中心に懸命のディフェンスで守り抜く。

#### 第2ピリオド

このピリオドは序盤から相手にカウンターで決定機を何度も作られる。序盤疋田が何度も止めてきたが、中盤連続で失点し追いつかれる。流れを変えるべく、セットオフenseに多少の修正をするも、なかなか流れを変えられない。しかし下がり気味になった相手のディフェンスの隙をついて得点する。さらに梶原がカウンターから鮮やかなハンツースhootを決め突き放す。

#### 第3ピリオド

過去何度もこの第3ピリオドで大量失点しており、このピリオドはかなり集中して挑みたい。ピリオド開始直後、梶原からのパスを桐生が押し込む。その後こちらがshootを決めきれない間に、相手に連続で3点決められてしまう。流れを変えきれないままさらに1点をとられついに相手にリードを許してしまう。

#### 第4ピリオド

1点ビハインドで迎えた最終ピリオド。東大は意地を見せるしかない。両者膠着状態が続くが、池亀が連続ミドルシュートで逆転する。しかしすぐに相手のフローティングシュートが不運な形で入り、同点に追いつかれる。しかし桐生が空けられたところからシュートを決め、リードする。そこから何度もシュートを受けるが全員の懸命のディフェンスで最後まで守り抜いた。

絶対に負けられないと意気込んだこの試合。これまで負け続けてきた東大チームが終盤で逆転して勝ち切ったことは大いに意味あることだろう。しかしまだまだセットオフense・ディフェンスに課題があり、次のステップを踏んでいきたい。ともあれ1部残留へ王手をかけられたので、次の試合も勝ちに行きたい。最後に、監督を務めてくださった三宅さん、観戦にいらしてくださった轟さん、堀江さん、有吉さん、圭奈子さんに心からお礼申し上げます。

(文責 池亀雅人)

---